

## ◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が6,621例あり、本年の累積報告数は54,374例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。  
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代男性)ありました。本年の累積報告数は2例となりました。
- 梅毒の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹です。感染経路は性的接触、感染地域は国内でした。本年の累積報告数は14例になりました。  
本年は、ほぼ毎週梅毒の報告があり、昨年同時期の7例と比較しても多い状況です。  
京都市では、平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については、下記のホームページをご覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- 播種性クリプトコックス症の報告が1例(60歳代男性)ありました。本年初めての報告です。
- インフルエンザは、市内69の定点医療機関から1例の報告がありました。全国でも報告数は極めて少なく(今週は定点医療機関数約5,000から27例の報告)、現在のところ流行の兆候はありません。  
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。  
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- 小児科定点把握感染症の推移は、前週までと大きな変化はありません。本市で流行の兆候の見られるものはありません。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、半期ごとのエイズ患者・HIV感染者数を集計し公表しています。市内医療機関から、令和3年下半期にエイズ患者2例・HIV感染者1例、計3例の報告があり、令和3年の年間報告数は4例でした。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

(性別、年齢、症状、感染地域※、感染経路※の順に掲載。ただし、結核は除く。)

- 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例)  
【1月以降の累積報告数 36例(肺結核 13例, その他結核 13例, 潜在性結核感染者 10例)うち喀痰塗抹陽性 3例】
- 新型コロナウイルス感染症 6,621例【1月以降の累積報告数54,374例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- 五類: 播種性クリプトコックス症1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

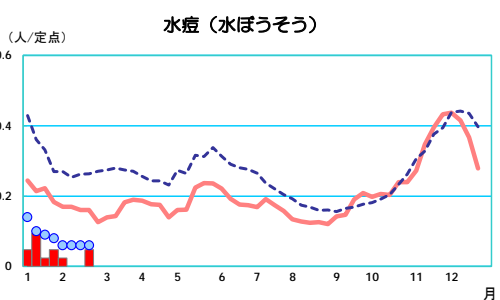
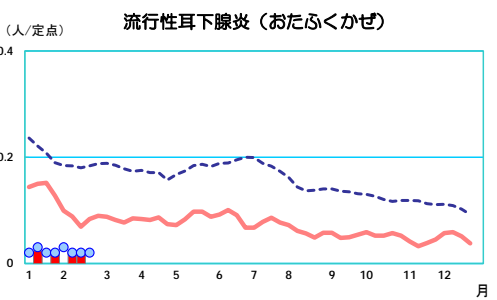
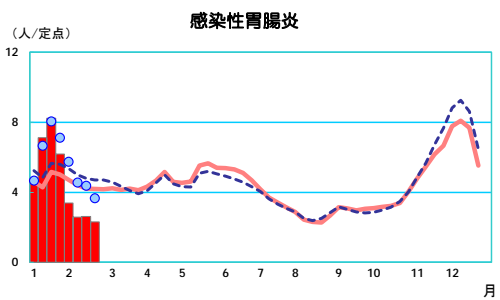
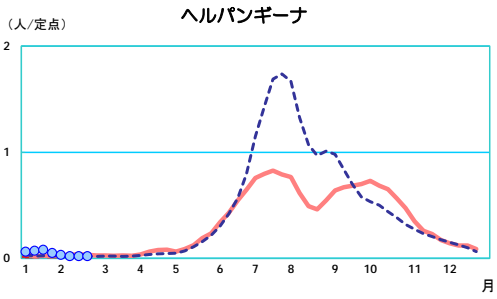
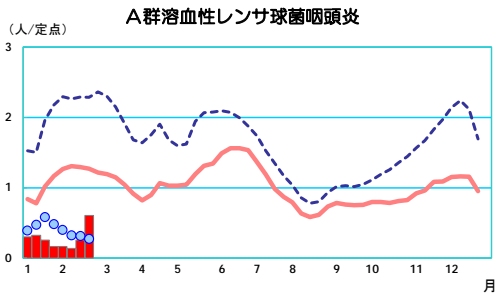
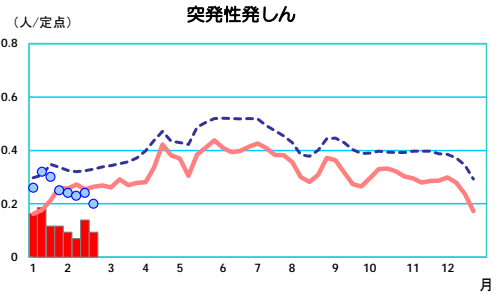
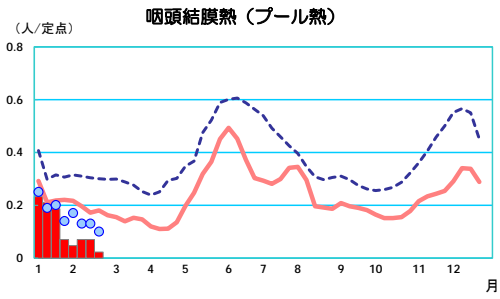
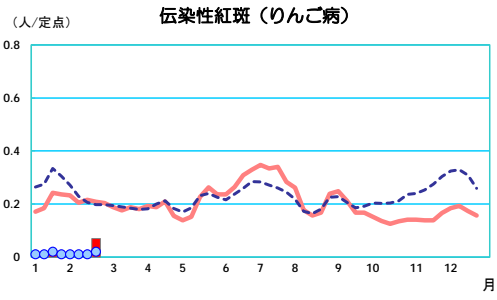
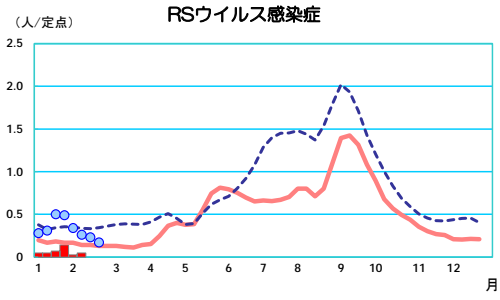
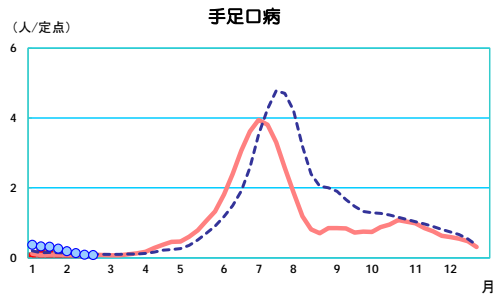
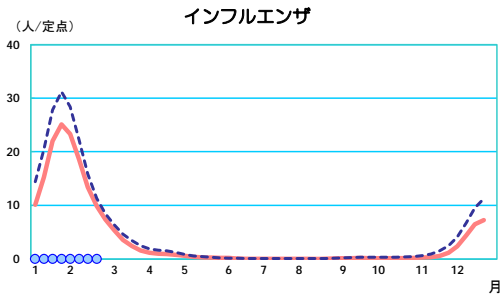
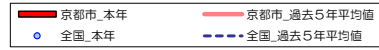
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.30	99
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	26
	③ 突発性発しん	0.09	4
	④ 手足口病	0.07	3
	④ 伝染性紅斑	0.07	3
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

### 【次ページ以降の主な内容】

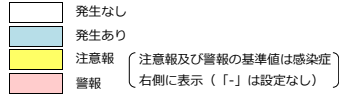
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2022年3月2日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

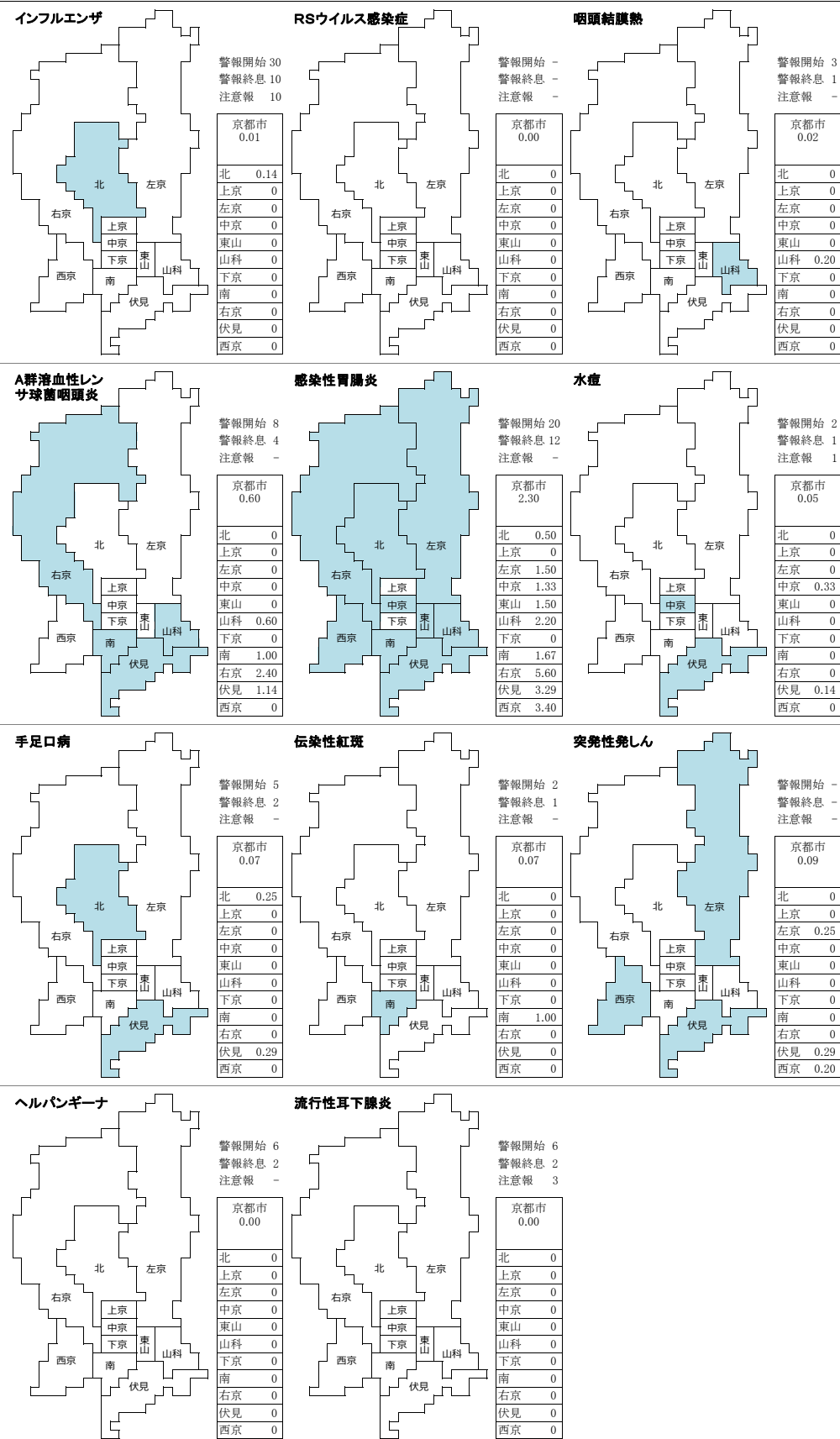
インフルエンザ<sup>※</sup>及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第8週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や  
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



## 第8週(2月21日～2月27日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、半期ごとのエイズ患者\*・HIV感染者\*\*数を集計し公表しています。京都市内の医療機関から、令和3年7月から12月末までの間、エイズ患者2例・HIV感染者1例、計3例の報告があり、令和3年の年間報告数は4例でした(令和4年3月1日公表、下記URL参照)。平成29年から令和2年までの本市年間報告数は14例～19例であり、令和3年は大きく減少したこととなりますが、新型コロナウイルス流行拡大による検査控えや検査の縮小などの影響も考えられ、今後の発生动向に注意する必要があります。

昭和62年以降の累積報告数は372例(エイズ患者 127例(34.1%)、HIV感染者245例(65.9%))で、男女別では男性が90%以上となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が最も多く、287例で全体の77.2%を占めています。中でも同性間の性行為感染が、174例で全体の46.8%と目立ちますが、異性間も102例(27.4%)で決して少ないわけではありません(図1)。診断時の年齢をみると、30歳代が最も多く報告されており(140例)、20～30歳代の比較的若い年代で約6割を占めています(図2)。

感染予防として、不特定多数のパートナーとの性交渉は避け、性的接触の際にはコンドームを正しく使用しましょう。

近年のHIV感染症の薬剤と治療方法の進歩により、「HIV感染＝死」ではなくなりました。継続的な治療は必要ですが、感染後、早期に発見し、適切な治療を行えば、免疫力を落とすことなく、通常の生活が送れるようになりました。さらに、二次感染の予防にも繋がります。感染初期は自覚症状がない場合もあり、検査を受けない限り感染に気付けないことがあります。京都市では、無料・匿名で検査を行っています。感染機会があったなど心配な方は新型コロナウイルス感染症流行時であっても積極的に検査を受けましょう。詳細については、以下のURLを参照してください。

\*エイズ患者：HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染し免疫機能が低下したことにより、感染症や悪性腫瘍などの指定疾患を発症した状態と診断されたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがエイズを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

\*\* HIV感染者：HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがエイズの診断基準を満たさないもの

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者数について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

【京都市のHIV検査について】

○<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>

(新型コロナウイルス感染症の流行状況等を踏まえ、現在は一部の検査を見合わせ、全て予約制で検査を実施しています。)(予約制でも無料・匿名で、プライバシーは守られます。)

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	エイズ患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成28年	302	98	204	280	22
平成29年	19	9	10	18	1
平成30年	18	6	12	17	1
令和元年	15	3	12	14	1
令和2年	14	8	6	14	0
令和3年	4	3	1	4	0
総計	372	127	245	347	25

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～令和3年)

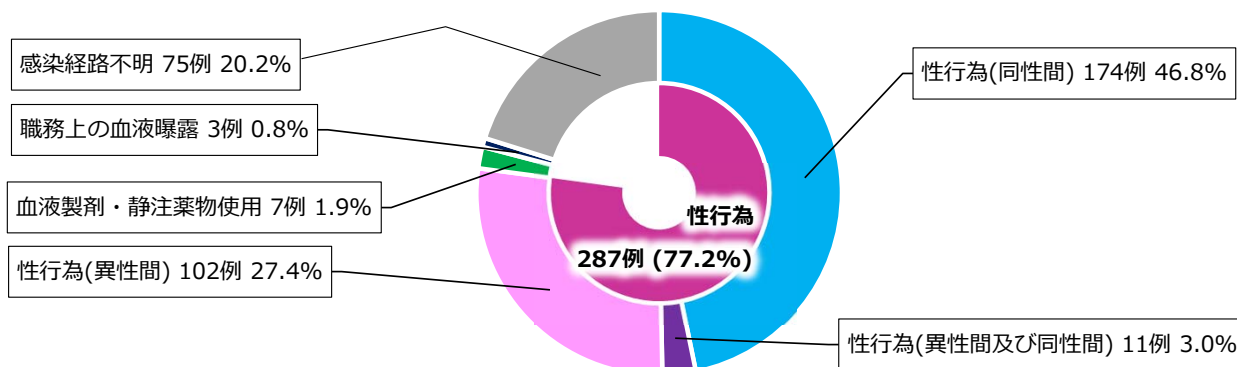
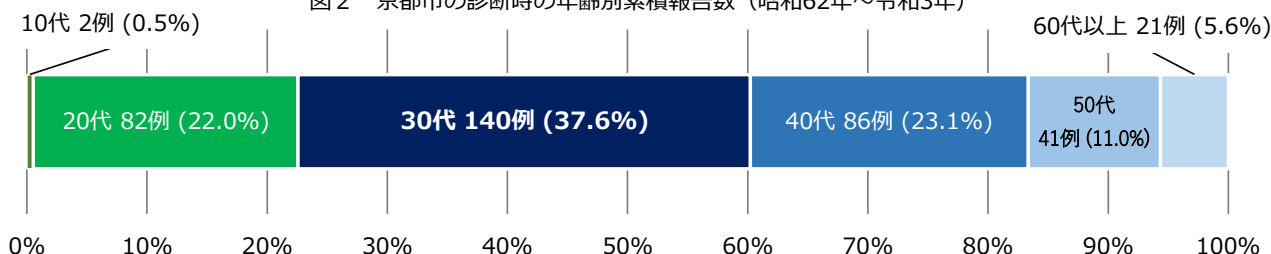


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～令和3年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第8週

疾病,行政区別報告数

2022年2月21日～2022年2月27日

データ入手日:2022年3月2日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	1	3	11	-	-	-	-	-	-	-	1					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	3	5	-	-	3	-	-	-	-	-					
右京	-	-	-	12	28	-	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	8	23	1	2	-	2	-	-	-	-					
西京	-	-	-	-	17	-	-	-	1	-	-	-	-					
京都市計	1	-	1	26	99	2	3	3	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.14	-	-	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	0.20	0.60	2.20	-	-	-	-	-	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	1.00	1.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-					
右京	-	-	-	2.40	5.60	-	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	1.14	3.29	0.14	0.29	-	0.29	-	-	-	-					
西京	-	-	-	-	3.40	-	-	-	0.20	-	-	-	-					
京都市計	0.01	-	0.02	0.60	2.30	0.05	0.07	0.07	0.09	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第8週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年2月21日～2022年2月27日

データ入手日:2022年3月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	-	1	2	3	3	3	-	2	1	2	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		99	-	8	8	11	13	7	9	3	2	3	6	19	3	7	-	-	-	-	-	-
水痘		2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.60	-	0.02	0.05	0.07	0.07	0.07	-	0.05	0.02	0.05	-	0.02	0.02	0.16	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.30	-	0.19	0.19	0.26	0.30	0.16	0.21	0.07	0.05	0.07	0.14	0.44	0.07	0.16	-	-	-	-	-	-
水痘		0.05	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.09	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。



T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年3月2日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	1	-	1
RSウイルス感染症	3	6	1	2	-	-
咽頭結膜熱	8	3	2	3	3	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	7	7	6	11	26
感染性胃腸炎	354	266	146	111	113	99
水痘	1	2	1	-	-	2
手足口病	10	9	3	1	1	3
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	3
突発性発しん	5	5	4	3	6	4
ヘルパンギーナ	-	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	1	-	1	1	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	2	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	394	300	164	128	137	140

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	0.01	-	0.01
RSウイルス感染症	0.07	0.14	0.02	0.05	-	-
咽頭結膜熱	0.19	0.07	0.05	0.07	0.07	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	0.16	0.16	0.14	0.26	0.60
感染性胃腸炎	8.23	6.19	3.40	2.58	2.63	2.30
水痘	0.02	0.05	0.02	-	-	0.05
手足口病	0.23	0.21	0.07	0.02	0.02	0.07
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	0.07
突発性発しん	0.12	0.12	0.09	0.07	0.14	0.09
ヘルパンギーナ	-	0.02	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.02	0.02	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	9.24	6.98	3.81	2.97	3.34	3.32

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。